

不滅の福澤プロジェクト

福澤諭吉記念第 63 回全国高等学校弁論大会

壹万円札肖像交代記念 埼玉県立深谷高等学校から弁士参加！

担当：生涯学習推進室 森園（電話 0979-62-9012）

本大会は、福澤諭吉先生の「慶應義塾」命名（慶應 4（1868）年）100周年に向けた記念行事として、昭和 37（1962）年、中津市と慶應義塾の共催で第 1 回全国高等学校弁論大会が開催されました。

その後、慶應義塾との共催は変わらないまま、全国の高校生の弁論力の向上と大会を通じた交流を目的に毎年開催され、今回で 63 回を数える歴史ある大会となりました。高校の弁論指導者から「弁論の甲子園」と称されるほどの全国トップレベルの大会であり、弁論に励む高校生の憧れの舞台となっています。

今回も、北は北海道から南は沖縄まで、原稿審査を通過した高校生弁士及び招待弁士（留学生弁士、深谷高校）、基準弁論弁士の計 29 名が出場します。今年は、壹万円札の肖像交代を受けて、渋沢栄一翁の出身地である埼玉県深谷市から弁士が特別参加します。



大会の概要

出場者 29 名

- (1) 原稿審査による出場 18 名（応募 23 名）
- (2) 大分県、沖縄県大会上位者 4 名（各県 2 名ずつ）
- (3) 招待弁士 2 名（外国人留学生、深谷高校）
- (4) 市内高等学校代表 4 名（中津南、中津北、中津東、東九州龍谷）
- (5) 基準弁論者 1 名（東九州龍谷）



第 62 回大会記念撮影

高校生の係

進行係、式場係、時計係、演題係、集計係、受付係 中津市内 4 校より各校 5 名参加

聴衆

中津南、中津南耶馬溪校、中津北、中津東、東九州龍谷高校 約 830 名

■日程（予定）

【12月5日（木）】

- 15:00～ 福澤旧居・記念館、寺町見学（希望者）
- 17:30～ 講話（慶應義塾大学 小川原教授）：市役所大会議室
- 18:00～ 弁論抽選会：市役所大会議室
- 18:30～ 審査員打合せ会



第62回大会見学の様子

【12月6日（金）】：中津文化会館

- 8:30～ 舞台上で記念撮影（弁士、審査員、主催者）
- 9:00～ 開会行事 市長、慶應義塾あいさつ、優勝旗返還（成田高等学校）
- 9:25～ 基準弁論（基準点の算出）
- 9:40～ 1番弁士
- 11:33～ 13番弁士終了（聴衆入れ替え）
- 12:05～ 14番弁士弁論（留学生招待弁士）
- 12:13～ 15番弁士弁論（深谷高校招待弁士：この順番は変わることがあります）
- 14:13～ 28番弁士弁論終了、審査、市内高校生によるアトラクション：中津北高校吹奏楽（予定）
- 15:00～ 表彰式
- 15:30 閉会

■表彰

(1) 最優秀賞（1名）

慶應義塾長賞（大会優勝旗）、中津市長賞（市長杯及び副賞）

(2) 優秀賞（10名）

大分県知事賞、大分県教育長賞、中津市議会議長賞、公益財団法人旧邸保存会理事長賞、OBS大分放送社長賞、TOSテレビ大分社長賞、OAB大分朝日放送社長賞、中津三田会会長賞、国際ソロプチミスト中津会長賞、NPO法人中津文化協会理事長賞



第62回大会優勝旗授与

(3) 入選（上記各賞以外の出場者）

■最優秀賞副賞【福澤先生の足跡を訪ねて】

※最優秀者には、交通費及び宿泊費（旅行券）計15万円分を副賞として贈呈する。

※旅行に際しては、福澤先生関係の史跡等のうち、一つを必ず旅行コースに含めること。

参考例：①福澤諭吉旧居（大分）②競秀峰（大分）③光永寺（長崎）④出島（長崎）⑤中津藩蔵屋敷（大阪）⑥適塾跡（大阪）⑦奥平家中屋敷跡（東京）⑧芝新銭座有馬家控屋敷跡（東京）⑨慶應義塾大学（東京）⑩常光寺（東京）⑪善福寺（東京）